



|              |   |
|--------------|---|
| Title        | 大阪大学大型計算機センターの計算機システムについて   |
| Author(s)    | システム管理掛   |
| Citation     | 大阪大学大型計算機センターニュース. 1995, 96, p. 3-9   |
| Version Type | VoR   |
| URL          | <a href="https://hdl.handle.net/11094/66094">https://hdl.handle.net/11094/66094</a> |
| rights       |   |
| Note         |   |

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

## 大阪大学大型計算機センターの計算機システムについて

システム管理掛

## 1 概要

大型計算機センターにはベクトル計算を高速に実行するスーパーコンピュータ SX-3/14R(以下、SX-3R といいます)、数値計算だけでなくデータベースなどを処理する汎用計算機 ACOS3900/10(以下、ACOS3900 といいます)、画像処理に優れた機能を持つ UNIX サブシステム IRIS Onyx、その他のワークステーションとして SPARCstation、IRIS4D、EWS4800、UP4800 が設置され、豊中地区データステーションには SPARCstation、EWS4800 のワークステーションが設置されています。これらの計算機及びワークステーションは、センター内のネットワークにすべて組み込まれており相互に利用することができます。また、センター外からも専用回線、交換回線、ODINS<sup>1</sup>あるいはその他のネットワークを介して利用することができます。

設置されている計算機システムの接続概要を次に示します。

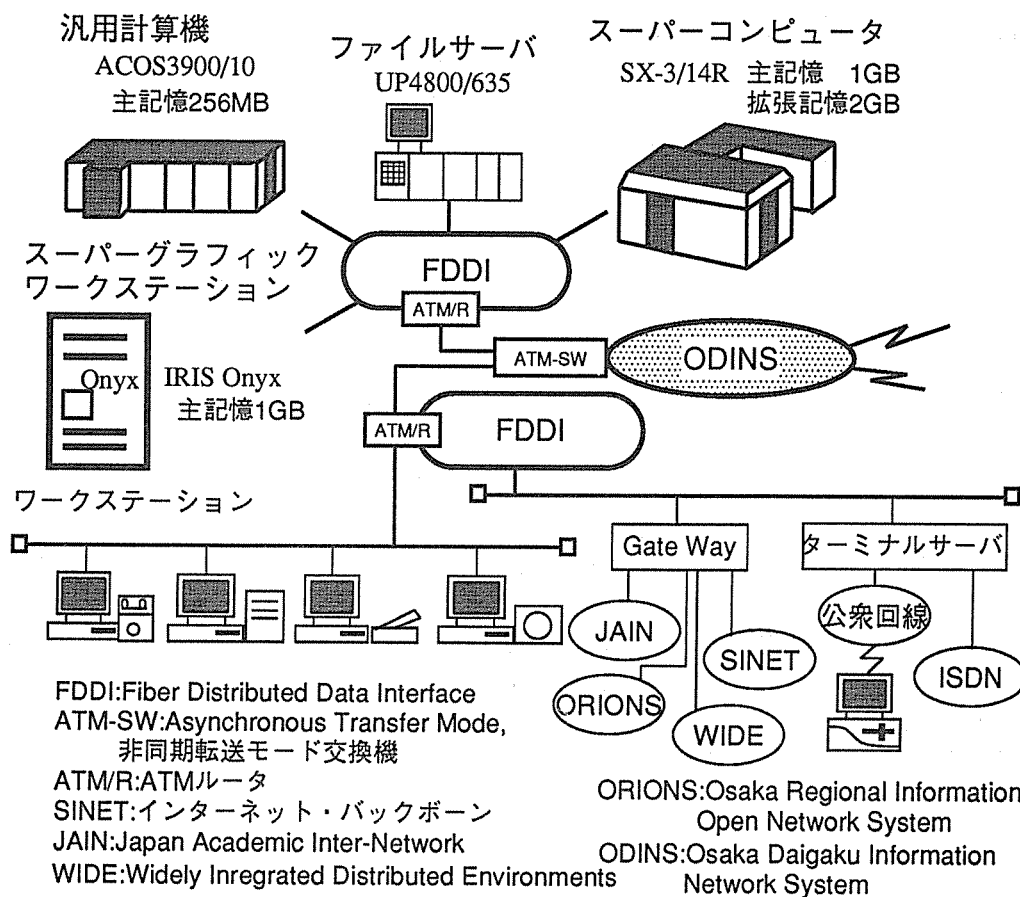


図 1.1: 計算機システム接続概要

<sup>1</sup>ODINS:大阪大学総合情報通信システム

## 2 スーパーコンピュータ SX-3R

SX-3Rはプログラムを実行する演算処理装置<sup>2</sup>、主記憶装置<sup>3</sup>、拡張記憶装置<sup>4</sup>、入出力処理装置、その他の周辺装置から構成されています。計算機を運用管理する基本ソフトウェア<sup>5</sup>には、ワークステーションに数多く採用されているUNIXが採用されています。

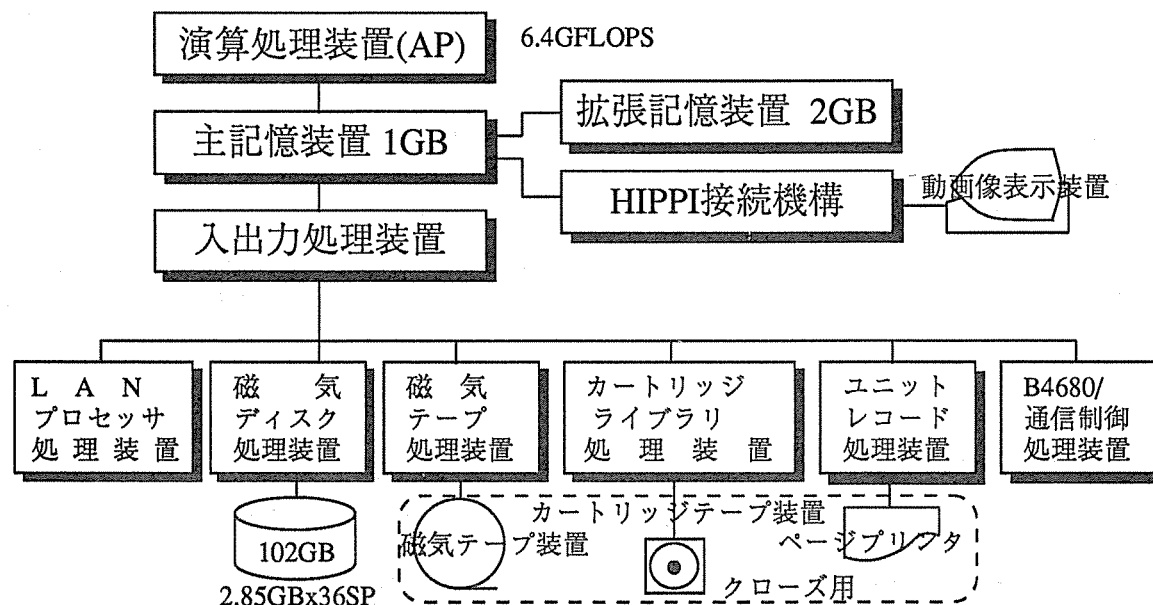


図 2.1: SX-3R 機器構成概略

### 2.1 演算処理装置

演算処理装置はベクトルユニット<sup>6</sup>、スカラーユニット<sup>7</sup>、及びインターフェイスユニットにより構成されています。

ベクトルユニットは2.5ナノ秒で動作する加減算/シフト演算パイプライン、乗算/論理演算パイプラインをそれぞれ2本持ち、合計4本のベクトル演算パイプラインにより、同時に4つの浮動小数点演算が実行されます。この構成を1セットとし、4セットが組み込まれており、単一プロセッサで最大6.4GFLOPS<sup>8</sup>のベクトル性能が実現されています。

スカラーユニットにはRISCアーキテクチャ<sup>9</sup>が採用され、128個のスカラーレジスタとスカラー用パイプライン演算器の利用により、高速なスカラー性能が実現されています。ただし、最近ではワークステーションでも高速なCPUが開発されてきており、スカラーの性能差は少なくなっているようです。

<sup>2</sup> AP: Arithmetic Processor

<sup>3</sup> MMU: Main Memory Unit

<sup>4</sup> XMU: Extended Memory Unit

<sup>5</sup> OS: Operating System

<sup>6</sup> VU: Vector Unit

<sup>7</sup> SU: Scalar Unit

<sup>8</sup> Giga Floating-point Operations Per Second(1秒当たり10億回の浮動小数点演算)

<sup>9</sup> Reduced Instruction Set Computer: 縮小命令セットコンピュータ、単純で限定された数の命令語体系を取り、演算方式を単純化してスピードアップとコスト削減をはかった、コンピュータシステムの設計思想。

## 2.2 主記憶装置

アクセスタイム 20 ナノ秒の記憶素子が採用され、1GB<sup>10</sup>を備えています。演算処理装置上で実行されるプログラム及びデータが格納されます。

## 2.3 拡張記憶装置

最大 3.2GB/秒の高速転送速度を備えた半導体記憶装置で、容量は 2GB を備えています。利用者プログラムの実行時に一時ファイルとして利用されます。

## 2.4 磁気ディスク装置

データを保存するために 102GB が備えられています。利用者の方は 200MB まで自由に使用することができます。

## 2.5 その他の入出力装置

磁気テープ、カートリッジライブラリテープ、ページプリンタが接続されていますが、これらの装置は運用上使用されるもので利用者の方は使用できません。

# 3 汎用機 ACOS3900

ベクトル計算を高速に実行するスーパーコンピュータ以外に、アプリケーション、データベースその他の目的のために汎用計算機も導入されています。OS には NEC 独自の ACOS-6 NVX が採用されています。

## 3.1 中央処理装置

中央処理装置<sup>11</sup>は、演算処理装置<sup>12</sup>とシステム制御装置<sup>13</sup>から構成され、EPU は主記憶装置から読みだした命令の実行及び割り込み処理などを行います。SCU は EPU と入出力処理装置<sup>14</sup>と MMU 間のインターフェイスを制御します。

## 3.2 主記憶装置

OS 及び利用者実行形式プログラムを格納する高速大容量の記憶装置であり、SCU に接続されています。容量は 256MB<sup>15</sup>が用意されています。利用者のプログラムは仮想記憶方式で実行されますので、実記憶容量には制限を受けませんが、運用上、ジョブの大きさを制限しています。利用できるジョブの大きさについては、本センターニュースの「大阪大学大型計算機センターの運用について」をご覧ください。

## 3.3 磁気ディスク装置

利用者のデータの保存並びにシステムの運用のために記憶容量 49.1GB、転送速度 4.5MB/秒の磁気ディスク装置 3 台、総容量 147.3GB が用意されています。利用者の方は 5000LINK<sup>16</sup>まで自由に使用できます。

---

<sup>10</sup>Giga Bytes

<sup>11</sup>CPU:Central Processing Unit

<sup>12</sup>EPU:Execution Processing Unit

<sup>13</sup>SCU:System Control Unit

<sup>14</sup>IOP:Input Output Processor

<sup>15</sup>Mega Bytes

<sup>16</sup>1LINK=3、840 語、1 語=4 バイト

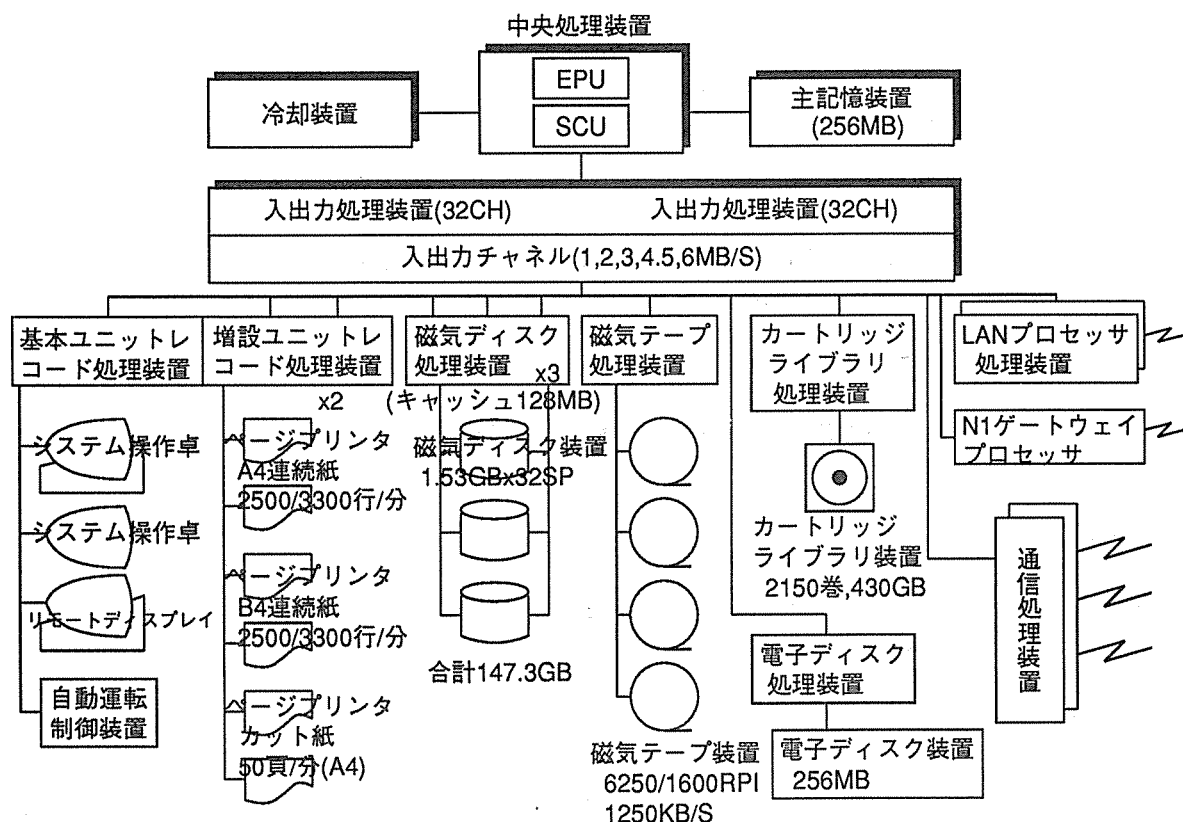


図 3.1: ACOS3900 機器構成概略

### 3.4 カートリッジライブラリ装置

1/2 インチカートリッジ磁気テープ<sup>17</sup>を 2,150 巻収容できる高速大容量記憶装置で、磁気ディスク装置のファイルバックアップと利用者のデータ用として用いられます。利用者の方が使用する場合はあらかじめ共同利用掛に申請が必要です。

### 3.5 入出力装置

汎用機には次表の入出力装置が接続されています。これらの入出力装置は利用者の方が自由に使用できます。

| 機 器 名                    | 台数 | 設置場所       | 機 能                 |
|--------------------------|----|------------|---------------------|
| ページプリンタ                  | 3  | オープン入出力室   | 計算結果の出力 (B4、A4)     |
|                          | 1  | 第 1TSS 端末室 | 日本語、図形出力可 (A4 カット紙) |
| X-Y プロッター <sup>(1)</sup> | 1  | オープン入出力室   | 図形出力                |
| 手書き OCR                  | 1  | 特殊入出力室     | 手書きデータの入力           |

(1) ●「図形出力の手引」、大阪大学大型計算機センター、1987.

<sup>17</sup>1 巻当たりおよそ 200MB

### 3.6 端末

センター内に設置されている端末は、ポートセクタ<sup>18</sup>に接続されている端末と ACOS3900 の通信処理装置に接続されている端末、UNIX ワークステーションに接続されている X 端末、及びセンター内 LAN<sup>19</sup>に接続されている PC9801 端末の 4 通りがあります。ポートセクタおよび LAN に接続されている端末は、計算機接続時にスーパーコンピュータ、汎用機、ワークステーションのいずれかを選択できますが、通信処理装置に接続されている端末は汎用機に直結していますので選択はできません。

| 機器名                  | 台数 | 接続先    | 設置場所       | 機能                               |
|----------------------|----|--------|------------|----------------------------------|
| PC-9801              | 5  | ポートセクタ | 第 1TSS 端末室 | 日本語/図形可、ASTER <sup>(1)</sup> 利用可 |
|                      | 7  | LAN    |            | 日本語/図形可、MIEDIT 利用可               |
|                      | 1  | 通信処理装置 |            | ファイル転送用 <sup>(2)</sup>           |
| N6965 <sup>(3)</sup> | 2  | 通信処理装置 | 特殊入出力室     | 汎用機用グラフィック                       |

(1) ●「ASTER 操作説明書」、大阪大学大型計算機センター、1988.

(2) ●「ファイル転送プログラム説明書」、大阪大学大型計算機センター.

(3) ●「図形出力の手引」大阪大学大型計算機センター、1987.

## 4 UNIX サブシステム

画像/音声処理用として IRIS/Onyx が導入されています。

### 4.1 IRIS/Onyx システム

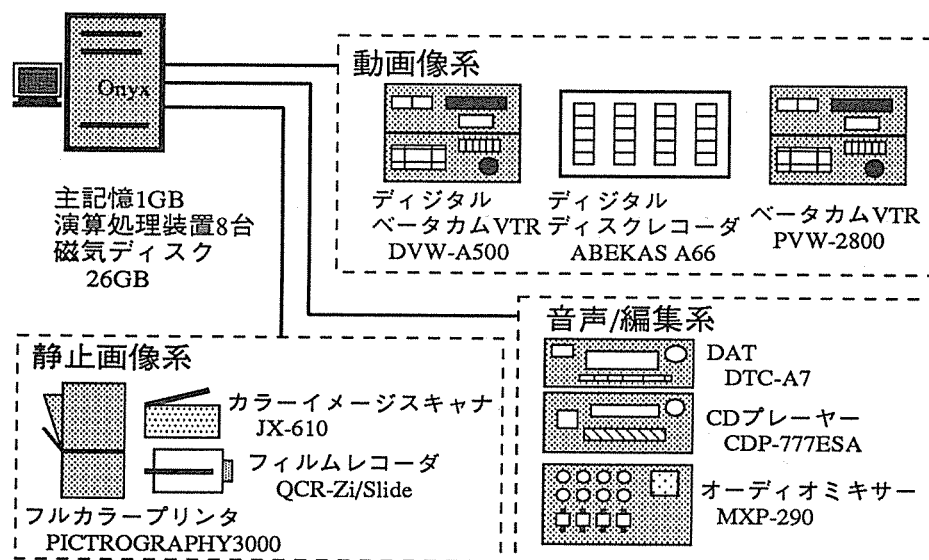


図 4.1: onyx 機器構成概略

<sup>18</sup> 計算機用交換機

<sup>19</sup> Local Area Network: 企業内情報通信網、ある地域に限定された範囲内でコンピュータ同士の間でデータや画像を相互に通信するネットワーク

マルチプロセッサタイプのグラフィックス・スーパーコンピュータで、CPUは150MHzのR4400が8台、総合性能は、800SPECmark<sup>20</sup>、176MFLOPS<sup>21</sup>の能力を持っています。主記憶容量は1GB、磁気ディスクは26GBが接続されています。グラフィック機能としてReality Engine2<sup>22</sup>が搭載されており、テクスチャマッピング<sup>23</sup>のある三角形メッシュをアンチエイリアシング処理をして90万ポリゴン<sup>24</sup>/秒の性能を持っています。

## 4.2 動画像系

記録再生装置として、デジタルベータカムVTR(DVW-A500)、ベータカムVTR(PVW-2800)、デジタルディスクレコーダ(ABEKAS A66)が、編集機器としてビデオスイッチャー(BVS-3200C)が導入されています。これらのビデオ機器はV-LAN<sup>25</sup>経由でIRIS/Onyxからすべて制御が可能です。

## 4.3 静止画像系

静止画入力装置として、1670万色、600dpiのカラーイメージスキャナ(JX-610)が、出力装置として、1670万色、400dpiのカラープリンタ(PICTROGRAPHY3000)及び35mmスライドを作成するフィルムレコーダ(QCR-Zi/Slide)が導入されています。

## 4.4 音声系

音声用装置として、CDプレーヤ(CDP-777ESA)、DAT(DTC-A-7)、オーディオミキサー(MXP-290)が、48KHz、16bitのステレオ信号を取り込むためにIRIS Indyが導入されています。

## 5 ワークステーション

大型計算機センター内に7台のワークステーションを導入し、各ワークステーションにサービス機能をもたせ分散処理を行っています。また、豊中地区のデータステーションにもほぼ同様の機能を持つワークステーションを導入しています。

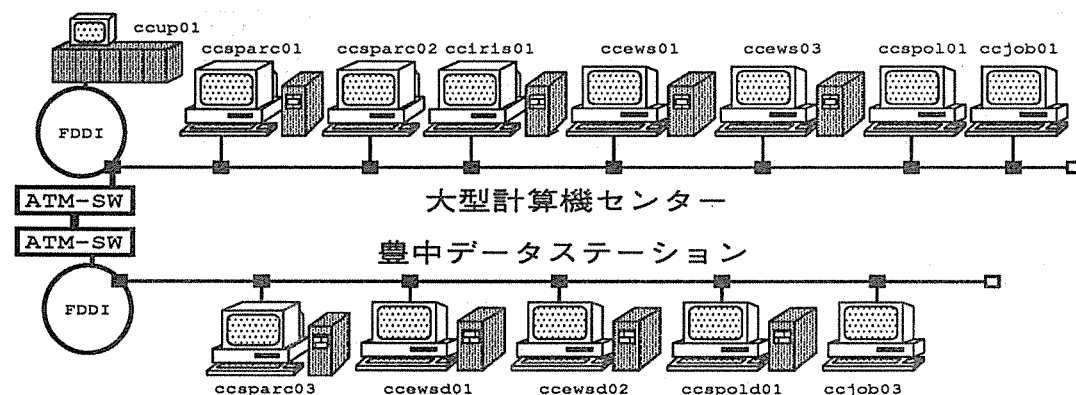


図 5.1: ワークステーション構成

<sup>20</sup> WS の性能を評価・比較する指標の一つ

<sup>21</sup> Mega Floating-point Operations Per Second

<sup>22</sup> グラフィック処理を担当する部分で従来ソフトウェアで行われていたテクスチャマッピングやアンチエイリアシング処理を行います

<sup>23</sup> 2次元画像の模様(絵)を3次元物体の表面に張り付ける方法

<sup>24</sup> 多角形

<sup>25</sup> 標準ビデオシステムをコンピュータシステムでフレーム単位の精度でコントロールするためのネットワークシステム

| ホスト名 (機能)                  | IP アドレス     | 機器名             | 主記憶   | 周辺装置設置場所        |
|----------------------------|-------------|-----------------|-------|-----------------|
| ccsparc01                  | 133.1.4.34  | SPARCstation2GX | 32MB  | 第 4TSS 端末室      |
| ccsparc02                  | 133.1.4.35  | SPARCstationELC | 8MB   |                 |
| ccspol01<br>(スプールサーバ)      | -           | EWS4800/350     | 64MB  |                 |
| ccews03(マルチ<br>メディアサーバ)    | 133.1.4.13  | EWS4800/360     | 256MB |                 |
| ccup01<br>(ファイルサーバ)        | 133.1.4.114 | UP4800/520      | 128MB | -               |
| cciris01                   | 133.1.4.33  | IRIS 4D/310VGX  | 16MB  | 第 2TSS 端末室      |
| ccews01<br>(PC98 サーバ)      | 133.1.4.11  | EWS4800/260     | 64MB  |                 |
| ccjob01(システム処理<br>状況表示サーバ) | -           | EWS4800/210     | 48MB  | 第 1TSS 端末室      |
| ccsparc03                  | 133.1.8.4   | SPARCstationELC | 8MB   | 豊中データ<br>ステーション |
| ccewsd01(マルチ<br>メディアサーバ)   | 133.1.8.40  | EWS4800/50      | 32MB  |                 |
| ccewsd02                   | 133.1.8.41  | EWS400/230      | 32MB  |                 |
| ccspold01<br>(スプールサーバ)     | -           | EWS4800/350     | 64MB  |                 |
| ccjob03(システム処理<br>状況表示サーバ) | -           | EWS4800/210     | 48MB  |                 |

### 5.1 SPARCstaion(ccsparc01) の周辺機器

- ・ 644MB SunCD
- ・ 2.3GB 8mm カートリッジ磁気テープドライブ
- ・ 150MB 1/4" 磁気テープドライブ

### 5.2 IRIS/4D VGX(cciris01) の周辺機器

- ・ 150MB 1/4" 磁気テープドライブ
- ・ カラービデオモニタ
- ・ ビデオカセットレコーダ
- ・ 昇華型フルカラープリンタ

### 5.3 UP4800/635(ccup01)

ファイルサーバの役割を担っており、ワークステーション上に作成される利用者のファイルはすべて、この UP4800/635 の磁気ディスク上に保存されます。このワークステーションには 48.4GB<sup>25</sup> のディスクが接続されています。

### 5.4 EWS4800/360(ccews03)

邦文・英文を認識できる OCR 装置 (イメージスキャナ) が接続されており、印刷文書からの文字入力が可能です。

### 5.5 EWS4800/350(ccspol01)

1/2" テープ、8mm テープ、カートリッジテープ、3.5" / 5" フロッピーディスクなどの媒体のデータを相互に変換します。操作はメニュー形式になっており、簡単に実行できます。

<sup>25</sup> 初期化前の総容量ですので、初期化するともうすこし少なくなります。